

みずほCustomer Desk Report 2018/06/13 号(As of 2018/06/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.32
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	110.39	1.1771	129.95	1.3371	0.7604
SYD-NY High	110.49	1.1809	130.27	1.3424	0.7623
SYD-NY Low	110.00	1.1733	129.51	1.3343	0.7566
NY 5:00 PM	110.37	1.1745	129.65	1.3372	0.7574
NY DOW	25,320.73	▲ 1.58	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,703.79	43.87	日本10年債	0.0500	1.00bp
S&P	2,786.85	4.85	米国2年債	2.5428	2.05bp
日経平均	22,878.35	74.31	米国5年債	2.8118	1.70bp
TOPIX	1,792.82	5.98	米国10年債	2.9636	1.29bp
シカゴ日経先物	22,835.00	▲ 125.00	独10年債	0.4885	▲ 0.40bp
ロンドンFT	7,703.81	▲ 33.62	英10年債	1.3980	▲ 0.65bp
DAX	12,842.30	▲ 0.61	豪10年債	2.7985	▲ 0.25bp
ハンセン指数	31,103.06	39.36	USDJPY 1M Vol	6.80	▲ 0.15%
上海総合	3,079.80	27.02	USDJPY 3M Vol	7.15	▲ 0.10%
NY金	1,299.40	▲ 3.80	USDJPY 6M Vol	7.75	▲ 0.05%
WTI	66.36	0.26	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	200.14	0.75	EURJPY 3M Vol	8.97	▲ 0.10%
ドルインデックス	93.82	0.25	EURJPY 6M Vol	9.21	0.01%

東京	オセアニア時間、トランプ米大統領がツイッターに米朝間の実務者協議について「うまくいっている」と投稿したことから史上初となる米朝首脳会談への期待が先行し、110.30付近まで上昇。東京時間、110.39レベルで取引を開始したドル円は引き続き会談への期待感から高値110.49まで続伸。その後、日経平均株価が下落する中、会談の開始を前に調整や利益確定の流れとなったことから110.13まで反落。午後に入るとトランプ米大統領の記者会見への期待感からドル円は底堅い展開となったことで110.43まで上昇し、110.39レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.39レベルでオープン。米朝首脳会談では朝鮮半島の完全非核化を目指すことと北朝鮮の体制は維持されることが合意されたが、会見は具体性が乏しく、一時110.10まで下落し、110.31レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3353でオープン。英雇用統計は賃金上昇がやや鈍化したものの、雇用者数は増えたことを受けて1.3419まで上昇したが、その後はBREXIT関連法案の議会投票を控えていることから上値を試す展開とはならず、1.3383レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、史上初となる米朝首脳が開催されるなか、期待先行で日経平均と共に高値110.49まで上昇したが、トランプ米大統領と金正恩朝鮮労働党委員長が署名した合意文書には非核化に向けた具体案が記載されていないことから、110.10まで反落し、110.31レベルでNYオープン。米5月消費者物価指数(CPI)発表前に110.42まで上昇するが、コンセンサスの指標結果を受け、上昇は一服。その後「英国でEU離脱法案修正案が否決された」との報道にポンド全面高となり、対ポンドでのドル売りに圧され、ドル円は110.16まで反落。クロス円にサポートされ下げ止まったドル円は、NY午後に入り、WSJ紙の「パウエルFRB議長が全てのFOMC会合後に記者会見の実施を検討中」との報道にドル買いで反応し、再度高値110.49まで反発。米金利市場の反応は限定的となる中、この水準を上抜けるまでには至らず、110.31まで反落。NY終盤は様子見ムードが強まり、110.37レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1794レベルでNYオープン。朝方は米5月CPI発表前にドル買いが強まり1.1775まで下落。指標発表後には1.1801を回復するも1.18台での滞空時間は短く、再び1.17台に押し戻され1.1790付近で小動きに終始。しかし、NY午後にはいると上記WSJ紙の記事に関するヘッドラインに反応してドル買いが強まったことから、安値1.1733まで下落し、1.1745レベルでクロスした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月12日		米朝首脳会談(シンガポール)	-	-
18:00	独	ZEW調査(現状/期待)	6月 80.6/-16.1	85.0/-14.0
21:30	米	CPI(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.8%	0.2%/2.8%
22:00	英	ホールデンBOE理事 講演	-	-

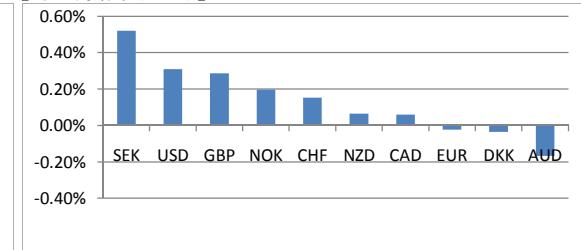
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月13日	09:30	豪	ウエストパック消費者信頼感指数	6月 -
12:20	豪	ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
17:30	英	CPI(前月比/前年比)	5月 0.4%/2.4%	0.4%/2.4%
17:30	英	CPIコア(前年比)	5月 2.1%	2.1%
21:30	米	PPI(前月比/前年比)	5月 0.3%/2.8%	0.1%/2.6%
	豪	ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
6月14日	03:00	米	FOMC政策金利	- 1.75%-2.00%
03:30	米	パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.50	1.1650-1.1800	129.00-130.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は、110.20-40を中心としたレンジ推移。米朝会談を終えたトランプ米大統領の記者会見では具体的な非核化プロセスが示されなかったものの、パウエルFRB議長が年8回のFOMC全ての会合後に記者会見を開くことを検討しているとの報道がドル買いをサポートした。本日のドル円は底堅い展開を予想。注目は米国のFOMCで示されるドットチャート。今会合を含め今年3回の利上げに留まるのか、4回を見通すのかによって相場が動意づくだろう。足元の米国は労働市場、インフレ動向共に良好であり、FRBメンバーからややタカ派的な内容が出てきても不思議ではなく、ドル円の堅調な相場展開をメインシナリオと考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:坂本・田家